

峰山高等学校 野球部通信



2017 3月. vol.3

〒627-8688 京都府京丹後市峰山町古殿1185番地
TEL 0772-62-1012 FAX 0772-62-1013
(発行)京都府立峰山高等学校野球部保護者会

日頃は保護者のみなさまをはじめ多くの方々からご協力を頂き感謝しております。秋季大会では峰山球場で5試合を戦うなど、恵まれた環境の中で試合に集中することができました。

また球場に足を運んでいただいた方々をはじめ、たくさんの野球ファンの声援を頂き、選手は力を出し切ることができたと思います。チームは秋季大会での反省点を踏まえ、新たな目標に向かってスタートしています。

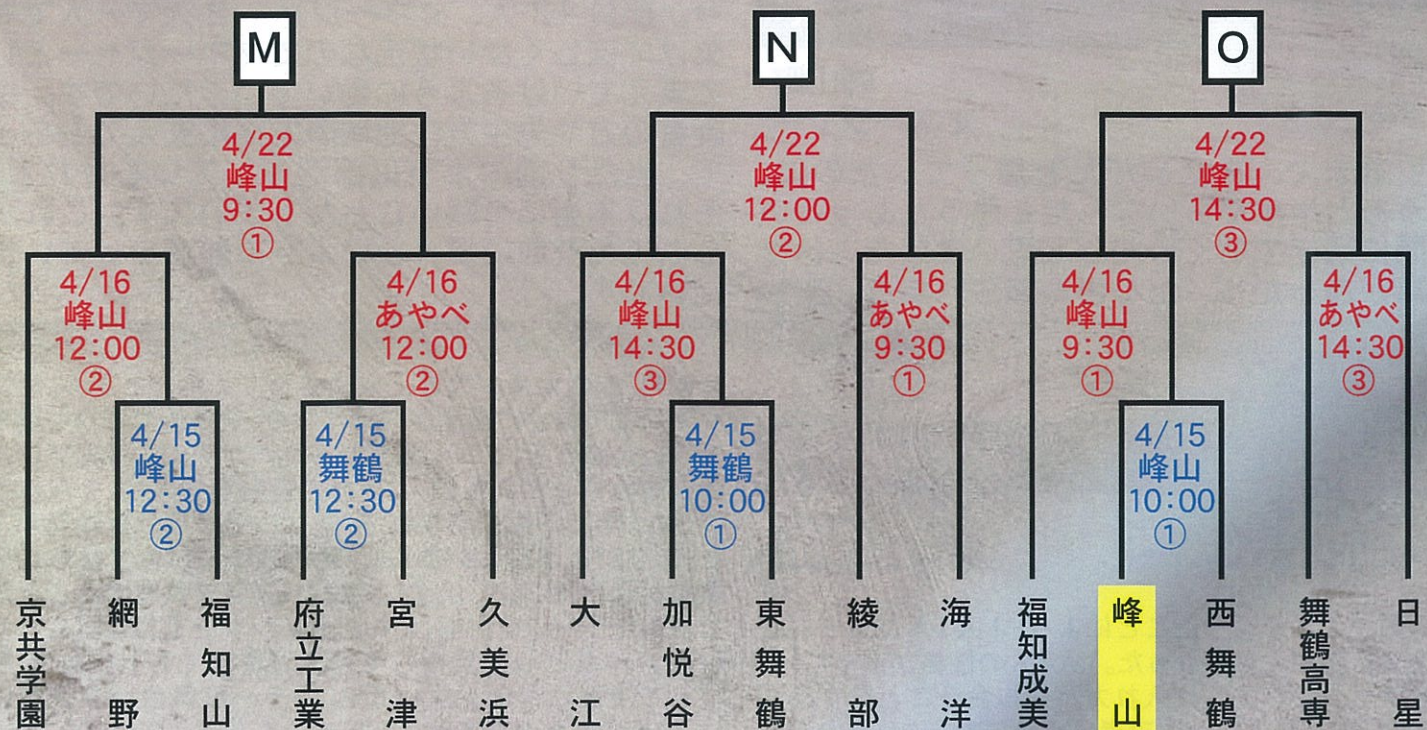
課題はつきませんが、冬の練習を積んで心も体も大きく成長できるように、支えとなれるよう指導に当たりたいと思います。

今後とも峰山高校野球部をよろしく願いいたします。

上田 将太



平成29年度春季京都府高等学校野球大会〈組合せ表〉



昨シーズンを振り返って ~そして2017年に向けて



(2年) 楠 輝人

与謝野町 捕手

昨シーズンまでトータル8本、このホームラン数に嬉しい気持ちがあるが満足ではない。調子の浮き沈みがあり数を増やせなかった。特に秋季大会では強く感じた一次戦、一回戦・二回戦と調子が良く大事な場面での一本も打った。でも一次戦決勝、西舞鶴戦では全く打てなかった。そんな中で敗者復活戦決勝延長に入った場面でホームランを打った時は最高だった。上手くチームをまとめてこれたかは自分では分からないが残り5ヶ月程、自分なりにまとめあげて最高の状態で夏に挑む。トータル30本打ったる!



(2年) 中川 聡

久美浜町 外野手

昨シーズンはケガなどでチームに迷惑をかけてしまうことがありました。いつきのケガでセンターを守っていた時期にも慣れない景色に動揺し、大事な場面でボールが投げられないこともありました。バッティングの調子が落ちていっぱいいっぱいになってしまっていた事もありました。それでもみんなは、やさしくはげましてくれました。カットの時はしっかりおってくれるように声をかけあってくれていたし、バッティングと一緒に悩んでくれた奴もいました。頼りない副キャプテンの自分ですが、プレーでみんなを引っ張って、このメンバーで甲子園へ行きます。



(2年) 永岡 佑太

峰山町 内野手

新チームになってから、副主将を任せられチームの中心人物になるべく頑張ってきました。なかなか個人としても、チームとしても上手くいかないまま秋の大会が始まりました。秋の大会を勝ち進むにつれ、個人としてもチームとしても大きく成長出来ました。昨シーズンはチームに迷惑ばかりかけていたので、今シーズンはチームに貢献できるように頑張っていきます。



(2年) 森 巨佑

峰山町 投手

秋季大会ではベスト16という結果を残せたけど、ここで満足するのではなく、春や夏ではもっと上を目指していきたいです。今年のチームは人数が少ないので一人一人のレベルアップがチームの力を上げていくことに大きく関わってくると思うので、全員で刺激し合ってさらに良い結果が残せるようにチームの力を高めていきたいと思っています。

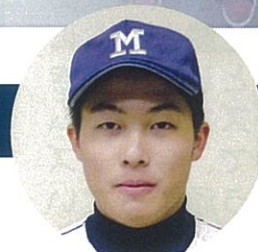


(2年) 高田 樹

峰山町 外野手

去年の秋の大会では足をけがしてチームメイトには迷惑をかけてしまう事が多くありました。足が治った後も足をかばってプレーしたりする事があり、自分の思うプレーが出来ませんでした。2017年は人数の少ない中で1人が怪我をするとチームに大きく影響する事がわかったので防げる怪我をなくしていき1日でも多く練習出来るようにしていき、大会では良い結果を出せるように頑張ります。

昨シーズンを振り返って ~そして2017年に向けて



(2年) 尾崎 周平

大宮町
内野手

昨シーズンは、秋季大会で自分たる目標の二次戦突破が出来ましたが個人成績が悪く、くやしい思いをしました。夏から再び部活に

参加させてもらってけがもありなかなか練習試合に出る事ができずチームにも迷惑をかけました。なので今年はけがをせずに残り少ないこの野球生活に満足できるような日を送りたいです。春、夏、いい結果。納得できる結果で終わるためにこれからも頑張っていきたいです。



(2年) 金森 正貴

峰山町
投手

昨シーズンを振り返って、チームとして目標の2次戦に行き、そこで1勝できたことはとても自信になりました。その中で自分の課題も見つけることができ、充実した期間を過ご

すことができました。自分の課題は全てのレベルアップを目指しながら怪我をしない体づくりをすることです。怪我をして投げられないことがあったので自分でもっと体のケアをして、しっかり投げれるようにしたいです。この課題をもとにオフシーズンの練習に取り組むことができたので、2017年も自分達の目標に向かって努力したいです。夏の大会で優勝できるようにチーム全員で頑張りたいです。

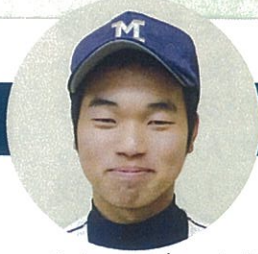


(2年) 谷口 拓也

宮津市
内野手

自分たちの世代がはじまるまでは不安しかなかったことを覚えています。人数も少なく、本当にやっていけるのだろうか。でも始めてみるとすごく楽しい、もちろん練習も辛い時だってありました。試合

に関してはもっと辛い、それでも楽しかったです。もちろん良い時だけではありませんでした。雰囲気が悪くなってしまったり、自分自身がチームに迷惑をかけてしまったり、個人的にですが、やめたいと思った事もありました。ですが、それでも野球が楽しいと思えるのはこのメンバーだったからだと思います。だからこそ、次は自分が皆に恩返しをする番だと思っています。プレーでも声かけでも全てのことでチームの力になります。このチームで良かった、野球を続けて良かったと心から思える最高の夏に向かって努力します。



(2年) 吉岡 大空

大宮町
外野手

昨シーズンを振り返って、課題が多かったと思います。試合でも自分の調子が悪かった時はすぐ態度に出ていてチームの雰囲気を悪くしていたと思うのでそこは直していかないといけな

い課題でした。打撃面でも打てない時は一気に打てなくなっていたので打席にもっと集中して1打席、1打席の改善をしていきたいと思う。2017年にむけては課題である調子が悪いと態度に出してしまう所をまずは直していき、チームの雰囲気が良くなるように声を出して明るくやっていこうと思います。打撃でも、もっと打てるようにしてチーム一丸となって打ち勝って夏の目標である「甲子園出場」を目指してやっていこうと思う。



(2年) 安達 悠斗

網野町
内野手

昨シーズンは秋、2次戦に進出して1つ勝ち、ベスト16になることができ新チームの発進としてはいいスタートができたと思うの

で、今シーズンは、春はベスト16以上の結果を出せるように日々の練習をしていき、夏は目標の甲子園に出られる様にがんばっていきたいと思います。今シーズンの初練習試合の時から、みんなしっかりと結果を残して大会に向けてやっていきたいと思っています。



(1年) 土肥 智輝

弥栄町
内野手

昨シーズンを振り返ると、試合などでチームの足を引っ張ってしまったことです。特に守備と走塁での課題が残りました。守備では外野手からサードに変更してなれない内野での守備への対応ができな

かったし、その場面での最低限することができなかったのが課題でした。走塁では足が遅いのをカバーしようとする事に意識しすぎて、次のプレーのイメージをできていなかったため2017年は守備・走塁・打撃全てのことでのプレーをイメージする事を意識していこうと思います。打撃ではヒットは打てても長打といえる長打は数本しかなかったため、チームでの自分の必要とされる打撃は長打だと思うので、2017年は長打を磨いていこうと思います。2017年での具体的な目標は打率3割以上HR5本以上を目標に日々バットを振ろうと思います。



(1年) 宇野 祐介

弥栄町
内野手

昨シーズンは、自分のことで頭がいっぱいでした。初めての硬式野球で中学校の部活とは雰囲気やレベルが違い普段の練習や

トレーニングなどついていくのに必死でした。出た試合はいい経験になり、課題もたくさん残ったシーズンでしたが個人的にはとても充実したシーズンになったと思います。

2017年は、後輩も入ってくると思うので自分のことだけではなく、チームのことも考えて、今よりもさらに成長できるように頑張ります。



(2年) 川戸 智未

峰山町
マネージャー

引退まで、まだまだだと思っていたのに、もうあと半年ぐらいなんだと思うとあっという間に過ぎていくのだなと思いました。色々な事があつたし、たくさん怒られたり、楽し

いこともあつたり濃い時間だったと思います。今、部員12人、マネージャー2人で一人でも欠けてほしくない状況なのでマネージャーとして支えていけるように動いていきたいです。保護者の方や先生方、地域の方々に支えてもらって、当たり前のように部活をしているけれど、それは本当に有難いことだと思います。これからも当たり前には慣れないように部活をしていきたいです。



(2年) 相見 風花

大宮町
マネージャー

人数が少なくなったことにより、1人1人がチームに与える影響が大きくなった。1人1人の性格が違って、それをチームとして受け入れカバーし合うことをするようになって、秋でだいぶできるようになった。そのこと

も含め、秋の大会が大きく成長させてくれたと思う。特に西舞鶴戦で負けて課題が明確になり、それまでよりもはっきりした強さを持った。課題だったベンチ内の雰囲気は試合を重ねるごとに各個人、自分の役割を考え、よくなっていった。また応援に恵まれ、応援なしでのこの秋は無かった。ありがとうございました。最後の練習試合では多くの課題が残り、私達は「風通しの良い(意見を共有することができる)チーム」を目指し、ミーティングを重ねた。(これからもチームとして目指して行く。)夏まであと5ヶ月、終わって後悔はしたくないから、もう一度気合いを入れ直し、やり切ったと言えるようにチームを支えていきたい。